Seiyo Assembly

西予 議会だより



特集

自然と祭りがいっぱい　野村 ⑭

新庁舎　基本設計決まる　定例会 ②
地産地消でまちづくり　質　疑 ④
CATV料金軽減へ　常任委員会 ⑤
傍聴者さびしい　一般質問 ⑧
政務調査費の使われ方　議員研修 ⑫
駅伝・吟詠(明浜)　市民の放課後 ⑬

第19号
12月
定例会
2008
2009.1.20発行

三世代交流（城川）



西予議会だより　第19号　http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html
E-mail gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp

西予市の風景



三滝渓谷 二見滝（城川）

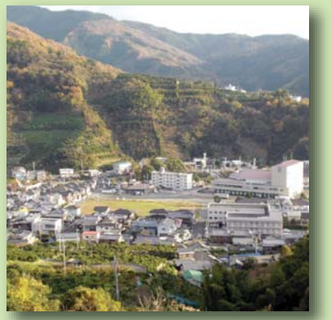
わが町の取って置きのスポット



三島神社の年明け（宇和）

思い出のアルバム

三瓶町



（新）



三瓶中心部　（旧）

昭和5年に操業開始した近江帆布工場でしたが、その跡地に酒六紡績と伊予紡績が進出しました。

現在地には三瓶文化会館他商業施設に建て替って、市民に利用されています。

編集委員の眼

野村ダムのイルミネーションが・・・

毎年恒例になっていた、野村ダムのイルミネーションが今年から中止になり、多くの方から毎年楽しみにしていたことが又一つ無くなり、益々地域が寂れていくようで、何とかならないかと意見を頂きました。

野村ダム管理所の話では、諸般の事情のため中止にすると、市や商工会に申し出があり、継続をお願いしたが「期待に添えなくて申し訳ない」との返事でした。

今まで、野村ダムに全てをお任せしたツケが、此処に出てきたように思います。来年以降の復活を期待します。



今年の野村ダム

編集後記

今回の定例会開催中に、議会に傍聴に来られた方が非常に少なく、寂しく思いました。議会は、市民のために、いかに安心して暮らせるかを議論する場です。市民の皆さんも傍聴席からですが、この議論に参加してみてください。

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は保健センター4階です。3月の定例会には、たくさんの市民の方が来てくださることをお願い致します。

（学）

編集委員
◎委　員　長　浅野　忠昭
○副委員長　兵頭　学
委　員　元親　孝志
宇都宮明宏
松山　清
明智　祥勝
二宮　一朗
兵頭　竜

発行／西予市議会　編集／議会だより編集委員会　発行責任者／梅川光俊　〒797-0015 西予市宇和町卯之町三丁目434-1　TEL0894-62-6413

庁舎建設 総額 約30億円！承認

12月3日から14日間の会期で、第4回定例会が開催されました。今回の定例会の主な議案は、条例制定1・改正5・廃止3、補正予算関係では一般会計・特別会計・企業会計等11の計20件、陳情2件を審議いたしました。

一般会計
5億414万3千円追加
総額249億2千705万円

庁舎建設

庁舎建設事業
3千692万円
庁舎建設に伴う、仮庁舎改修工事、図書館エレベーター設置工事、情報システム及び通信システム改修工事費

のむらキッズ

放課後児童健全育成事業
194万4千円
平成21年4月から野村地区にて学童保育を開設するための施設整備費


のむらキッズ予定地

野村クリーンセンター

野村クリーンセンター管理運営事業
931万9千円
野村クリーンセンターの灰出設備（集合コンベヤ・灰バンカ）が腐食して、業務に支障を来すための取替え工事費

基金の積立

西予市地域振興基金事業
3億円
市民の連帯の強化、地域振興に要する経費の財源に充てるための基金の積立

簡易下水路改修

すてきな集落整備事業
850万円
明浜町の高山、渡江地区の生活環境の改善を図るための簡易下水路改良工事費


腐食した灰出コンベア

庁舎建設に関する基本設計がほぼ出来上がり、その展望が見えてきました。

合併特例債を用いた庁舎建設は愛媛県で初。その総額は約30億円。平成23年度完成に向けて、実施設計・建設へと進んでいきます。





議会日程 12月

3（水） 本会議 開会
4（木） 一般質問・質疑
5（金） 常任委員会
6（土） 休会
7（日） ⇩
8（月） 常任委員会
9（火）
10（水）
11（木）
12（金）
13（土） 休会
14（日） ⇩
15（月） 予備日
16（火） 本会議 閉会

2009年 あけましておめでとうございます

議長に就任して半年が過ぎました。

私は、各常任委員会に主体性があってこそ、議会の活性に繋がるとの思いで、議会運営を進めて参りました。

閉会中であっても、各常任委員会を開催して、問題提起することによって、議会の使命と権威が守られます。その点において、今の議会が前向きに進んでいることを大変有難く思っております。時間をかけてしっかりと議論をしながら、議会と行政が情報を共有して、一輪ではなく両輪として、共に切磋琢磨していく事が、重要であると考えています。

市議会も6年目を迎えるに当たって、西予市の窮状を打破するためには、理事者、議会、職員が互いに協力しながら、市民の生活福祉、産業振興を推進していくべきであると思っております。

市民の皆様の御協力を心からお願い致します。


西予市議会議長
梅川　光俊

祝・完成

木のぬくもりいっぱいの大野ヶ原小学校



雄大な四国カルストの大地に映えるたたずまい。
優しさに包まれた空間で子供たちはたくましく豊かに成長します。

子供たちが、そして地域が待ち望んでいた大野ヶ原小学校が完成し、12月2日に落成式が行われました。

標高1200メートルに建つ新校舎内に入ると、西予市産材がふんだんに使われており、極寒の大野ヶ原にいる事を忘れさせてくれるような暖かさが伝わってきました。

こういった、地域や西予市材のぬくもりを感じながら、これから多くの児童が巣立っていきます。



校舎概要
敷地面積・12,513.99㎡
延床面積・校舎540.17㎡
（内給食室36.01㎡）
構　　造・木造平屋建
総 工 費・143,178千円
完　　成・平成20年11月20日



～標高1200ｍから10の笑顔～

質疑

施設給食を地産地消で

地産地消を

◇給食食材

問　介護施設が民営化された場合、効率化が図られ、入所者の給食を民間へ外部委託されることが予想されるが、公共施設の給食は、何食あるのか。材料費の総額はどれくらいの金額になるのか。

答　西予市保育所で賄う給食総数が、年間で31万6千食。材料費6千671万5千円です。

病院・福祉施設併せて61万4千食。材料費が1億5千858万9千円です。

小中学校併せて、70万食。材料費1億6千823万円になります。

西予市の公共施設で賄う給食は、163万食で材料費の合計が、3億9千353万円になります。

なお、大半の施設の材料は、市内業者の使用率が90％を超えています。

◇公共工事

問　西予市が発注する公共工事に関して地産地消が出来ているのか。

答　公共工事や材料も地元優先で行っています。

西予市独自の不況対策は

問　今の大不況に対して、西予市独自の経済対策を示す姿勢が必要ではないか。

答　9月補正で、中小企業の融資限度枠の拡大をさせていただいています。



三瓶給食センター

職員給与の平準化は

問　合併時、職員の給与調整は、5年を目途に行うとなっていたが、現在の状況はどうなっているのか。

答　現在、8割程度調整ができています。

問　今の状況について、職員組合への説明は出来ているのか。

答　今のところ、組合からの要請がないのでしていないが、今後は連絡を密にしていきます。

学校給食地産地消について（学校からのコメント）

【小麦】今年度より西予市産小麦を100％利用
【米】　11月から西予市産米100％使用
【牛乳】「らくれん」を使用していますが80％は西予市産
【その他】野菜・魚介類は各給食調理場で異なるが、可能な限り西予市産材を使用

【今後の課題】
★ 食材の安定供給体制の整備
★ 給食費が割高になるため、保護者の理解が必要

ケーブルTV料金軽減（検討中）

総務常任委員会

条例制定

「西予市税条例の一部を改正する条例」
寄付金控除に関するもの

補正予算

◇庁舎建設（基本設計承認）

早期退職者制度

平成17年度から導入された早期退職制度により、今年度末累計で約9億200万円の削減が図られています

支所の体制は

現在の総合支所における6課体制を4課体制にする方向を考えているが、市民サービスには支障ありません。



基本設計検討会

起債対象事業費は

合併特例債を充当しての庁舎建設は県内でも例がないため、高知県四万十市に出向くなどし、研究を重ねていく中で、設備・附帯工事費を起債対象に含めることにしました。概算事業費約30億の内起債対象事業費約25億です。

建設資材単価の変動における今後の対応は

現在は昨年6月時点の単価であるが、これからは実施設計の中で実勢価格で対応します。

実施設計に向けて西予市産材の利用増加を

組み入れる方法を十分検討していきます。

◇ケーブルテレビ

加入しやすくするためにも生活弱者に対する支援策は

加入金の5万7千750円からキャンペーン期間中の1万5千円の値引きだけでなく、様々な世帯の状況を調査し、負担のかからない方策を研究中です。



西予CATV

◇学校再編　子供たちのために…

教育委員会の方向性は

12月末までに教育委員会としての案を作成し、市長に報告をすると共に議会に説明を行った後に、再度住民説明会を全地区で開催します。

校舎の建替え等に対する国の補助は

現在公表できる段階ではないが、条件がある中で補強・改築どちらにおいても市の負担がかなり少なくなる方向であるとの連絡を受けています。



授業風景（多田小）

高齢者福祉施設民営化へ

厚生常任委員会

条例制定

民でできる事は民で

『西予市デイサービスセンター条例の一部を改正』
『西予市特別養護老人ホーム条例を廃止』
『西予市軽費老人ホーム条例を廃止』

『民でできることは民で』という考えのもと、西予市の高齢者福祉施設を民営化することとなり、それに伴う条例の改正・廃止。

◇民営化後の市との関わりは

広域的利用が可能な施設は愛媛県が指定、指導監査を行い、地域密着型の施設は西予市が行います。

また、補助金等の支出が生じた場合には議会の議決が必要となります。



特別養護老人ホームあけはま荘

◇職員の処遇は

職員の意志を確認した結果、41人中26名は法人へ移籍を希望、15名は市に残り、臨時職員18名中3名は退職、15名は法人へ移籍を希望で、市に残る職員の異動先は確保しています。

◇起債の償還残は

建物は無償譲渡、土地は無償貸与となり、施設の起債の償還残は引き続き市が償還していきます。

し尿処理場

『西予市衛生センター条例の一部を改正』

現在施設使用料に差がある東部・西部衛生センター（し尿処理場）の使用料を統一するため、段階的に見直しを図るもので、18リットル当たりの料金を東部では35円から30円、西部では15円から20円に改正します。



ケアハウスはまゆう

補正予算

ゴミ袋・ボックス

市の指定ゴミ袋作製は、市内業者が落札し、作製しています。また、ゴミボックスの製作に関して市からの補助する考えはなく、各自治会で対応して頂くことになります。

メタンガス測定

10月1日からの温泉法の改正によりメタンガス濃度測定が必要であり、クアテルメ宝泉坊の温泉管理者が市であるため、その手数料5万8千円を市が負担します。

繰上償還

簡易・上水道の高利率の起債の借換があり、その効果額は、簡易水道事業で3千800万円、上水道事業で1億4千万円となっており、長期的に公費負担額が軽減され、今後の水道事業の健全経営に効果があります。

なお、利率は6％から1％前後になりました。



クアテルメ宝泉坊
（温泉水バイオプール）

所管調査

耐用年数の限界

東部衛生センターの調査を行いました。

昭和55年から稼動しているこの施設は、配管設備の腐食など老朽化が著しく、耐用年数も限界にきています。今後、老朽化が進行している西部衛生センターと併せて、し尿処理場建設を検討していかなければなりません。

また、市では平成21年度から新施設整備に向け、設備事業計画等の事業に取り組む予定です。



東部衛生センターの視察

玉春日引退記念事業費補正

産業建設常任委員会

条例制定

『西予市大野ヶ原集落環境管理施設条例』

大野ヶ原地区における畜産業の振興と集落内の環境保全に努めるため、条例を設置します。

『西予市道路専用徴収条例の一部を改正する条例』

道路法施行令の改正に伴い、道路専用料の改正を行うため、本条令の一部を改正します。



施行場所　城川町高野子地域

交付金事業

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業は城川町高野子地域において、農道・農業用水路・営農休憩施設を整備する事業です。

補正予算

◇玉春日引退記念事業費　140万円

9月に引退表明した、玉春日関の功績を称え、2月に乙亥会館で記念事業を行う経費

◇公共下水道特別会計　450万円

野村処理区の施設管理費、施設整備費の減額と公債費の増額によるもの



カロト温泉について商工会と協議

審査・意見

□農林水産課所管分の質疑の中で、明浜漁協においては、八幡浜漁協との合併が議論されており、合併のための条件整備を進めています。組合長からも、返済に対する利子補給の陳情が、当委員会にありました。

□公共下水道事業特別会計補正予算の中で、今後経営の健全性を確保するためには、更なる加入促進のための、努力を期待したいとの意見がありました。

陳情

■ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情について

採択

■（旧）城川町森林組合事務所及び現西予市森林組合城川支所の建物賃借に関する陳情について

採択

所管調査

商工会と意見交換

◆野村町「カロト温泉」の指定管理者制度について契約期限が3月31日になっていることから、次年度以降どうするのか意見交換をいたしました。結論としては、今後更なる営業努力はもちろんのこと、経営者としての自覚を持ち、市民の満足度を高めるよう、要望しました。

今後「カロト温泉」を継続していくためには、施設の構造上、入浴者数には限界があり、市からの委託料は、最低限必要であることを認めました。

林業振興

◆林業行政において、全国でも先端を行く、久万森林組合の組織機構について視察を行いました。

研修の成果として、久万森林組合が行っているように、行政が先頭に立って、担当職員を配置して、造林業に対する積極的な国・県の補助の確保、及び将来の展望を描いていくべきではないかという結論に達しました。



久万林業活性化センター

一般質問





小野　正昭 議員

問　市長のマニフェストによると、総合支所方式から本庁支所方式に移管となっているが、その時期と内容は。また、充分な機能が発揮されていない総合支所の運営に対し課長、支所長の意見を聞いているのか。職務代行、即ち人事権および、予算の裁量を与える考えはないのか。各総合支所の競争力向上の為にそれぞれの街づくりの特色を生かした、街づくり予算で職員の発想力を競わす考えはないのか。

市長　現在の総合所方式を残してほしい声もありますが、職員の削減、事務の効率化を考え、平成23年４月の庁舎完成と同時に本庁、支所方式に切り替える予定です。又、総合支所の課長、支所長の権限の件ですが、本庁の課長、部長と同等の権限を与えております。街づくり予算で職員の発想力を競わしてはとの、質問ですがひとつの手段として検討したい。

Q 総合支所の権限 明確でない 支所長権限 本庁部長と対等

個人情報 漏洩しているのでは

問　個人情報の取り扱い並びに、運用につき本来の五原則を的確に守っているのか、身内に甘く、市民には厳しくなっているのではないか。個人の大切な情報が流出した事例があるが、今後どのような対応をされるのか。

副市長　職員には個人情報に対し、正しい認識と理解又、適正な取り扱いと個人情報保護との活用のバランスについて、周知、啓蒙を図る必要があると考えております。職員に対しましては、地方公務員法上の守秘義務及び、条例の趣旨について、一層の指導、徹底を行い、市民の方々に疑念を抱かせることのないよう、適正な管理・運用に努めて行きたい。



総合支所のあり方は今後の課題

議会もリーマンショックか？



傍聴席は閑古鳥



元親　孝志 議員

問　現在の日本経済は「100年に一度の金融災害」といえる、米国発の金融危機の嵐の中にいる。今まさに、自治体の危機管理能力が、問われるのではないか。西予市においても、いろいろな事業を計画し、予定通り着々と進捗している。不測の事態を想定すれば、事業の変更、あるいは一時中止といった事態は、今の段階では考える必要は無いのかどうか、市長に現状認識と将来展望について伺いたい。

市長　好不景気の波は、この南予の西予市で感じるには、中央に比べて時間差がありますが、この波は必ずこの西予市にも訪れると思っています。しかし就任以来、確実な財源裏づけに基づき、事業を実施してきましたし、これからもこれが私の基本姿勢であります。

Q 金融災害・西予市の危機管理は 財源裏付は 十分確保の上で計画

現在進めている事業の変更、あるいは一時中止といった事態は今の段階では考えていません。今後の事業の計画、実施に当たっては、市の財政計画やそのときの財政状況と施策の必要性、緊急性を勘案し、事業決定、推進を図ってまいります。

市長　『永長東池』は合併後の西予市まちづくりを計画する上で、広大な土地を一括取得できる機会は度々遭遇することでないため、先行投資として西予市土地開発公社が理事会に承認を得て取得いたしました。用地取得以来契約書では市が公社からの買収時期は、平成22年4月となっています。今後は西予市の将来を見据えながら、公共事業の推進に努めたいと考えています。

永長東池 利用計画は

問　永長には西予市土地開発公社が所有する５千400坪の土地が遊んでいる。これも視野に入れて再検討すれば土地の流動化によって、経済効果が相当期待されると思うが、永長の土地の今後の利用計画はどうなっているのか伺いたい。



西予市土地開発公社が所有する『永長東池』

Q 地域高齢・過疎化の支援策は 三つの施策を検討中



大竹　忠盛 議員

問　高齢化が進む周辺地域の医療・災害時の対応・自治のあり方等について、より具体的方策を早く示すべきで、合せて地域の活性化の土台となる相互扶助の社会システムを再構築すべきと考える。手段として、地区公民館を充実強化することによって市民が安心して暮らせる自治のあり方を目指すべきではないか。



宇和中央公民館

市長　調査による今後の必要な取り組みについて「高齢者・医療・福祉対策」の要望が多い。市としては、高齢者が安心して生活できるインフラ整備が必要。１つめには、利便性に配慮した地域医療体制づくりを行いたい。２つめには、生活の足となる交通手段の確保であり、今後はデマンドバスの導入による、交通形態の検討を進めて参りたい。３つめには、地域公民館のあり方が重要であり、今後は、地域担当職員の配置も視野に入れ、公民館単位の地域づくりや、行政と市民が共に考えるきめの細かい集落支援も併せて検討したい。

グリーンツーリズムの振興策は

問　グリーンツーリズムは農山漁村に滞在し市民との交流、農山漁村の体験によって、新たな観光資源の開発や一次産業を生かした地域活性化に結びつくと考えるが市の対応は。



農家民宿　　城川

産建部長　西予市は海の幸から山の幸まで資源豊かな地域であり、ＧＴは地域自らの創意工夫による地域の活性化につながる。市としても現在普及促進を図っている。ＧＴは農林水産業の振興にもつながる。今後は地域の観光施設や第三セクターとのネットワークづくりを進め、官・民が連携し、各々が持つ魅力を点から線につなげた「西予市型グリーンツーリズム」の振興を図って参りたい。

Q 市道の維持管理どうする 「集落支援員」制度の導入を検討



明智　祥勝 議員

問　西予市の限界集落の現状は市内337地区のうち68地区20.2％となっている。中でも野村町135地区のうち41地区30.4％、城川町62地区のうち21地区33.9％と、その増加率は非常に高くなっており、行政としても「限界集落問題対策プロジェクト」が設置され、対策が講じられているところである。

　城川町のある集落では、戸数９戸、総人数14名、70歳以上の高齢者が83.3％を占めている。この地区の市道、生活道の草刈り、支障木除去作業等を年数回実施し維持管理をしている。支障木除去作業については、市の道路環境美化事業に取り組めば一名当り７千750円の助成があるが、作業をしたくても高齢化の状況では労力の確保ができない。地域のコミュニティ作業やボランティアでは、地域や生活を守ることはできなくなる。そこで、対策の一つとして地域の中から公募し、市道を維持、管理する組織の設置、助成は考えられないか。

市長　本年度、各集落でアンケート調査や聞き取り調査を実施しました。平成21年度はモデル地区を設定し事業実施後、平成22年度には広域に施策を展開していく予定です。

「市道維持管理のための組織の公募設置」については、総務省過疎対策事業「集落支援員」制度の導入を検討しています。集落内を定期的に見回り、直面している問題点の解決や支援を実施する人員の配置を行うもので、費用は国から交付税として充当されます。一方、農林水産省には、平成20年度～21年度にかけて「小規模・高齢化集落支援モデル事業」で当該集落の農用地に係る水路、農道等の保全管理活動に要する経費の助成事業の制度があります。総務省をはじめ、集落に応じた国の限界集落対策事業の導入検討と市の事業を併せ、維持管理組織や助成の対策を講じていきます。



支障木除去作業

集落再編成は

問　限界集落が増加する中、集落の維持が困難になりつつある現在、広報会のあり方、役職の整理等今後集落単位の市長の見直し、再編成についての市長の考えは。

市長　「集落の再編成」については、安易な合併による常会の維持困難や、高齢者の孤立も予想されます。集落の育んできた伝統文化、歴史等も尊重すべきであり、集落の役員制度なども含め、行政として再編成を積極的に推し進めることは問題があると思います。該当集落や周辺の集落が今後の自分たちの集落のあり方を真剣に議論・検討したうえで判断すべき項目と考えます。



二宮　一朗 議員

問　政府の新しい経済対策で、総額２兆円の「定額給付金」が今年度末に実施されることになった。

西予市に７億円支給

　経済不況で収入が伸び悩む中、物価高で苦しんでいる家計を支え、中・低所得者の方々に手厚い恩恵が及ぶ。西予市においては、約７億円が市民の家計に入ることとなり、心待ちにされている。

市長のコメントは

　ところが、過日の愛媛新聞のアンケートの西予市のコメントは、「とんでもない発想で驚きを禁じ得ない。国と地方には大きなギャップがある。・・・・・」とあるが、真意を聞きたい。

市長　税金とは、①公共サービスの資金調達②所得の再配分③景気の調整の３つの機能があります。

Q 定額減税は 愚策なのか いとも簡単に 2兆円は意外

根本的課題に対処するためには、定額か定率減税を行うことが、税の機能の本質であり、定率定額減税にかからない方々には生活給付金を支給することが平等性を高めると思います。

地方は国の借金で我慢

　また、平成16年度の三位一体の改革により、西予市においても、５年間の累計で、約40億円を超える地方交付税がなくなりました。国・地方合わせて800兆円を超える借金を、少しでも削減をする為地方も苦しい中で耐えてきました。

交付税の復活を

　今回、いとも簡単に２兆円の定額給付金を出すと言う発想に驚いたわけであります。今まで三位一体改革により削減された地方交付税の復活を強く望みます。

妊婦検診無料化へ

問　妊婦検診は、出産の際に母体や新生児の命に危険が伴う「ハイリスク妊娠」の早期発見や胎児の発育異常の診断など大切な役割を担っている。現在５回の無料検診を、14回の無料化に向け取り組むべきではないか。

福祉部長　母子保健法においては出産までに14回程度の受診が必要とされております。公費負担をすることにより、妊婦が医療費の心配なく検診を受け、母子・胎児の状況を把握し安心して出産できることは、少子化対策に応援できると考えます。国からの財政支援が得られるならば、検査範囲、検診時期等の中身をつめて、検診回数14回程度を公費負担にて実施するよう検討していきたい。



市外の産婦人科医院

Q 救急業務・大丈夫？ 過去に問題は起きていない



松山　清 議員

問　最近、妊婦のたらい回しによる死亡事故が全国的に見られるが、西予市での心配はないか。また、明浜・城川地区は昼間だけ救急車が常駐という体制だが、民間活用等で24時間体制にできないか。救急車がタクシー代わりに利用されるという報道があるが、西予市の実態は。



新年も「安心」を守る救急体制

消防長　妊婦の救急体制は、なんら問題ありません。明浜・城川地区の救急体制は充実を計って来ました。救急業務は消防本来の業務で民活は困難です。また、軽症での救急車利用も不適正ではありません。

CATV促進と生活弱者支援は

問　来年度開局予定の西予CATVは、導入の初期費用が高い、また、月々の受信料が必要であるなど加入が低調だ。促進策として、無料期間を設けたり、実際に体験してもらうなどの実質的な対策が重要なのではないか。また、生活保護世帯や母子家庭、高齢者などの生活弱者の月額受信料の軽減措置はとれないか。

総務部長　公民館などで実体験してもらいたい。生活保護世帯には加入金の全額助成を、基礎年金のみの高齢世帯には加入金の一部を助成する検討をしています。

QC導入で業務改善を

問　西予市では事業やイベントなど前例踏襲が多いが、住民ニーズに的確に対応した行政の遂行、サービスの提供が求められる時代だ。5年という節目に、事務事業評価システムの導入成果も合わせ、業務改善を進めるべきではないか。

総務部長　行政経営課題は山積しており、「行政評価システム」「QC活動」両方に重要となるPlan(計画)Do(実施)See(評価)のマネジメントサイクルを回しながら業務改善に努めてまいりたい。

マトリクス組織の活用を

問　現在の組織は縦割りで風通しが悪く、自分の担当している仕事以外はわからないという職員も多い。

それは縦割りの行政組織に問題があるが、場合によっては、組織の部や課を横断するプロジェクト組織とも呼ばれる「マトリクス組織」を構成することが効果的であり、公共下水道の加入促進、西予市の林業の活性化、ゴミ処理費のさらなる削減など、マトリクス組織をもっと活用すべきではないか。

総務部長　庁舎建設・限界集落問題検討などのプロジェクトチーム、医療問題検討委員会で成果を上げています。今後とも山積している諸問題解決のためマトリクス組織の活用に努めたい。

政務調査費の使われ方

変わる地方議会

市議会会派(五和会)では、日本で初めて、議会基本条例を制定した、北海道栗山町議会を研修してきました。地方分権時代を迎えて、地方議会の役割も大きく変わってきました。全国ですでに20数カ所の議会が、基本条例を定めて、議会改革に取り組んでいます。西予市議会においても、時代変化に対応した議会運営を模索中であります。



栗山町議会研修

清渓セミナー

第13回清渓セミナーに7名の議員が、2泊3日で参加しました。今回は衆議院議員の解散総選挙がいつになるかで、直前まで開催が危ぶまれましたが、結局当初の計画通り実施されました。今年のテーマは、地方の医療制度のあり方、議会改革のあり方等が大きなテーマでした。参加者は例年の半分くらいでしたが、いつもながら、目からうろこの話が聞くことが出来ました。



日本青年館

Citizen Voice

市民の放課後

駅伝に魅せられて

明浜体協陸上部

明浜体協陸上部は約35年前に発足した陸上をこよなく愛し、駅伝にのめり込んだランナー集団です。

現在は20～40歳代を中心とした20名の部員で活動し、「明浜体協ここにあり」と鼻息荒く頑張っています。

主な大会は12月の愛媛駅伝一本松～宇和島大会、1月今治～松山大会、2月愛媛マラソン、3月クラブ駅伝で、毎月なにかの大会に参戦しています。



タスキを継ぐ選手



一本松～宇和島大会スタート前

この大会シーズン中は忘年会、新年会など酒を飲む機会の多い時期ですが、私たちは宴会の席を横目にみながら黙々と練習に励みます。

『飲むか走るか』ここが勝負の分かれ目となるのです。今日もまた、私たちは目標に向かって走り続けるのでした。

最後に「明浜町新春駅伝競走大会」を紹介します。この大会は明浜町の新春の風物詩として定着し、今年で37回を数えました。約17kmを7区間でたすきを繋げます。ランナーはもちろん沿道では沢山の応援で大いに盛り上がります。また、この大会をとおして走ることに目覚めた子どもや大人の方も数多くいます。私たち明浜体協の原点もこの大会にあると言って過言ではありません。

今後も「走」を通じて競技性を持ちつつ、健康づくりと町の活性化に一役買ったことができる明浜体協でありたいと思います。

吟詠会俵津支部

支部長　三好　弘巳

昭和51年野村吟詠会、俵津支部が発会。健康、礼節、伝統文化の承継を目標に毎週公民館で吟詠の練習をしています。

最近は、過疎。高齢化により会員が減少し一抹の寂しさを感じていますが、57年に発足した吟詠児童会に元気と勇気を頂きながら頑張っている現状です。

吟詠児童会　16名

平成13年財団法人全島文化国民協会の傘下となり、地区のイベント、学校行事その他各種大会で活躍しています。

毎年参加している、県青少年吟詠剣詩舞大会では、合吟の部で優勝し、新たにやる気を起こし練習に弾みがついたようです。

また第22回愛媛県高等学校総合祭の大会では、宇和高より2名（吟詠児童会所属）も出場し、舞の部で優勝、構成の部では2人共全国大会に出来ることになりました。



愛媛県高等学校総合祭



吟詠会メンバー

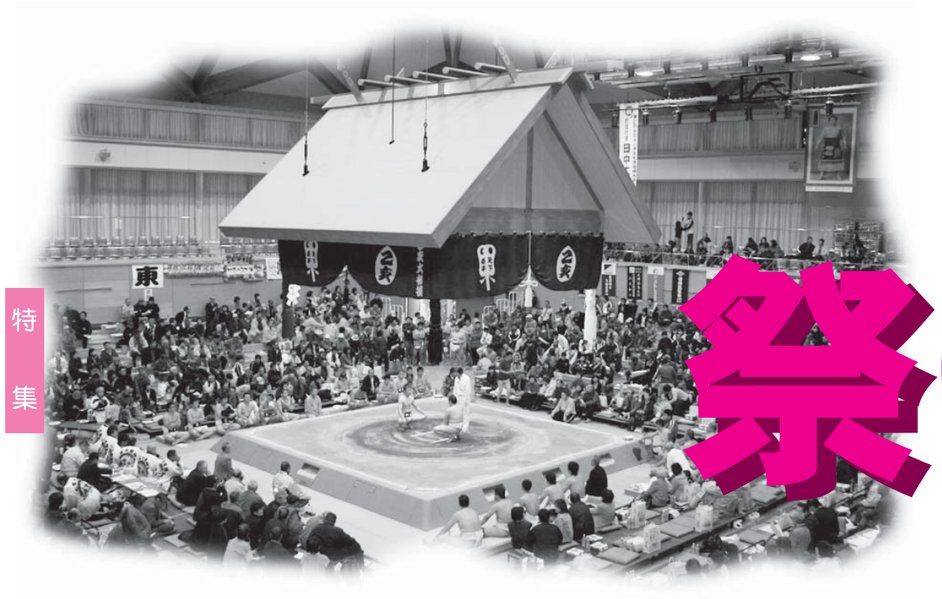
勉強と部活、詩舞、若い力をフルに活用して頑張ってくれることと思います。男子中学生3人も変声期を乗り越え吟道に励んでおり、青少年の健全育成の一翼を担っているものと自負しています。

特集

野村町

祭りと自然がいっぱい

特集



朝霧湖マラソン

5月3日は毎年『のむらダム祭り』が開催されます。新緑の香る、ダム湖畔ではいろいろな行事が執り行われます。

そのひとつが朝霧湖マラソンです。昨年で第17回目を迎え、年々参加者も増加しています。コースは5km・10km・ハーフマラソンで行われます。千227名がエントリーされ、遠くは埼玉県、茨城県から参加がありました。もちろん県内者がほとんどですが、お隣の高知県からは123名の参加者でした。



スタート前

野村ダム祭り

ダム祭りは、5月3日に行われます。野村ダム本提には、出店が埋め尽くし、そのそばを鯉のぼりが優雅に泳いでいます。例年約2万人の人で、往来もままならないほど込み合います。ダムの右岸には、水上に特設のステージを設置して、生バンドが賑やかに演奏します。また、地元の商工会・農青連の人たちが、バザーでもてなしてくれます。奥の土俵では、子供たちの相撲が元気に行われます。一日飽く事がなく過ごすことが出来ます。

納涼花火祭り

8月の14日には、納涼花火が、ダムの右岸で打ち上げられます。お盆を故郷で過ごされる方にと始まった花火ですが、花火の人気は衰えません。毎年約2万人の人が夜空を焦がす花火に感動されています。谷間で響く音に迫力があり、湖面に映る花火もなんともいえません。財政厳しき折ですが、何とかがんばっています。ぜひ野村町に四季を問わず来てみてください。



野村ダム納涼花火大会



湖面を泳ぐこいのぼり

乙亥っていつからあるの

嘉永(一八五二年)に起こった大火災を機に、愛宕神社に旧暦の10月、乙亥の日を選んで、33番結びの火鎮祈願相撲を行ったことが始まりです。昭和27年に百年の年限が終了した現在も継続されています。昨年が157回目にあたります。

全国唯一のプロとアマの対決

大相撲力士のほか、アマ相撲をリードする有名大学選手、地元の小中学生、一般等総勢250名が2日間にわたって、個人戦・団体戦を繰り広げます。

また奉納相撲を初め幕内力士による相撲指導、稚児の土俵入りを行います。

昨年157回を迎えた乙亥相撲も、玉春日関の引退ということで盛り上がりにかけるのではと心配いたしましたが2日間で7千人の入場者がありました。

兎追いしかの山小鮒釣りしかの川
夢は今もめぐりて忘れがたき故郷

野村町は自然がいっぱい。特に大野ヶ原は全国屈指の石灰台地。四国カルスト高原大野ヶ原は、四季を問わず、訪れるものを魅了してやみません。高山植物が咲き誇る景色は絶景です。豊かなブナの原生林や四国最大級の大鍾乳洞(羅漢穴)など何度行っても飽きることがありません。豊かな自然は私たちの共有財産です。この豊かな自然を後世残すために今私たちに出来ること、それは限りなく故郷を愛することです。



大野ヶ原カルスト風景

志を果たしていつの日にか帰らん
山はあおき故郷水は清き故郷

野村町の水瓶、桂川渓谷は、町から近場でありながら、自然がいっぱい。桂川渓谷は、奇岩があったり、澄み切った水が思わず口を持っていきたくなるような、自然の魅力を感じます。遊歩道も整備され、四季を問わず、訪れる者を感動させてくれます。この下流には野村町の水瓶である、桂川ダムがあり、年間を通じて変わることのない水量を湛えています。周辺は蝶の楽園として整備されており、四季折々の花が目を楽しませてくれます。近くにはホワイトファームがあり、食事も堪能出来ます。



桂川渓谷・乙御前の滝